



SAGA2024国スポカヌー競技会

カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター

監督会議資料



日時：令和6年9月12日（木） 11時

会場：川内川湧水町轟の瀬特設カヌー競技場

主催：公益社団法人日本カヌー連盟

佐賀県カヌー協会

SAGA2024実行委員会

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

監督会議 次第

日 時：令和6年9月12日（木） 11：00～11：30
場 所：川内川湧水町轟の瀬特設カヌー競技場 式典会場・休憩所（大テント）

進 行：進行 総務部長 小澤 研

1. 開 会

2. 挨拶 競技委員会委員長 藤野 強

3. 役員紹介

公益社団法人日本カヌー連盟
佐賀県カヌー協会
SAGA2024実行委員会

4. 競技運営について 審判部長 田中 秀幸

- (1) 競技方法
- (2) 競技日程
- (3) 競技会場
- (4) 競技上の注意
- (5) 出場選手の確認
- (6) その他

5. コースについて 技術部長 加藤 彰則
コースデザイナー 三馬 正敏

6. 質疑応答

7. 連絡事項 SAGA2024実行委員会

- (1) 式典について
- (2) 輸送について
- (3) 駐車場について
- (4) 観覧エリアについて
- (5) 弁当について
- (6) 医療救護について
- (7) おもてなしについて
- (8) その他

8. 閉 会

競技運営について

1. 競技方法 公益社団法人日本カヌー連盟カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター競技規則、及び国民体育大会特別規則に基づき実施する。
2. 競技日程 (資料1-1・1-2)
3. 競技会場 (資料2)
 - (1) 競技本部 (会場施設配置図 No. ②)
 - (2) 記録掲示・配布所 (会場施設配置図 No. ③)
 - (3) 抗議調査・受付所 (会場施設配置図 No. ④ 競技本部横)
4. 競技上の注意
 - (1) 発艇順及び間隔
 - ア スラローム及びワイルドウォーターの発艇順は、プログラム記載のとおりとする。
 - イ 発艇間隔は、スラロームは2分、ワイルドウォーターは1500m2分(ノンストップトレーニングは1分)・スプリント1分間隔とする。
 - (2) 発艇の位置
 - ア カヌースラローム・カヌーワイルドウォーター
 - イ スリット板等により表示する。
 - ウ 発艇は下流を向け静止発艇とする。河川の状況、水位の変化がある場合はスターターの指示に従うこと。(SL・WW共に自己保持。)
 - (3) 発艇合図
 - ア 発艇合図は電子音とし、30秒前(口頭)「10秒前(ピー)、5秒前(プップッ ピッピッピッ ピー)の合図をする。
 - イ 次番選手以降は順次、発艇調整員の指示のあった場所で待機すること。
 - (4) 決勝線の位置
スリット板・看板・のぼり旗により表示する。
 - (5) コース空け渡しの処理
区間審判員がホイッスル・ハンドマイク等で空け渡す指示をした場合、速やかにコースを空けわたすこと。再発艇についても、区間審判員の指示に従うこと。
 - (6) 計測方法について
スタート・フィニッシュともにスリットビデオ方式、バックアップはグリップスイッチ方式とする。
 - (7) コースの練習
 - ア スラロームコースは、ゲート設営のため9月1日～10日まで使用できない。
ワイルドコースは、掘削工事を予定しているが天候事情により未定のため、使用できない期間については追って連絡する。
 - イ 公式練習中はセルフレスキューとするので、各所属チームの責任下で行い、事故防止・安全管理に十分な注意を払うこと。
 - ウ 公式練習中も必ずビブスを着用すること。
 - エ コース内施設(ゲート等)に関して、安全確保上やむを得ない場合を除き一切触れないこと。
 - オ 公式練習の日程及び割り当てについては、(資料1-2)のとおり。
 - カ 9月13日の練習: WW1500mスタート地点から、轟橋まで。WW1500mの競技成立後は1500mスタート地点から轟橋までは練習可とする。
9月14日～9月16日の練習: WW1500mスタート地点から、轟橋まで練習可。

(8) 検定

ア 試合前検定

SL：艇は自主検定

WW：艇は前検定

ライフジャケットの検定は全員、試合前に行う。合格したら連盟指定のタグをつける。既に付いているものは確認をする。このタグは今後の大会でも使うので試合後取り外さないこと。

イ 競技終了後の検定は、SL・WWとも全艇行う。

ウ 後検定時に艇の水抜きをした際に落下した重り等については、艇の一部として認めないので注意すること。

エ 競技時における商標の取り扱いには十分注意すること。なお、必要に応じ、事前に検定主任に確認のこと。※(資料3)参照。

オ 検定場は、試合前No.㉑のテントで行い、試合後の検定はNo.㉒のテントとする。

※(資料2)参照

(9) 選手のビブ

ア ビブスは、実行委員会が用意したものを使用する。

イ 競技の際にはビブスがよく見えるように着用すること。

ウ ビブスの未着用又は本人以外(個別番号の違いを含む)のビブスを着用した場合は発艇できない。

エ 使用したビブスは、返却の必要はない。

(10) 成績表

ア 成績表は、モニターにより最終成績を発表する。

イ 最終成績表は、成績掲示所で配布(各県のレターボックス)する。

ウ 競技速報はテレビモニターで表示するが、これは仮発表であり最終結果と相違が生じる場合がある。

エ 成績はWebにアップする。

URLは<https://seikosportslink.com/pdf/002/index.html?i=20008959>



(11) 予備艇

本大会では、予備艇を用意している。艇が破損し、予備艇の貸与が必要な場合、競技本部まで申し出る。ただし、ライフジャケット・スプレーカバーは貸与対象外とする。

※スラロームK-1用、C-1用、ワイルドウォーターK-1用のパドルは少数ですが準備している。

(12) 艇輸送

スラローム競技、ワイルドウォーター(スプリント)競技については、各自艇を運ぶこと。

ワイルドウォーター(1,500m)については、艇及び選手の計画輸送を行う。

具体的な計画輸送については、実行委員会から連絡事項の中で説明する。

5. 出場選手の確認

(1) プログラム訂正届は監督会議終了後、10分以内に競技本部に提出すること。

(2) 棄権届は、競技開始1時間前までに競技本部に提出すること。

※プログラム訂正届、棄権届は競技本部に用意している。

6. その他

(1) 公式練習中も確認のため、配布されたビブスを着用するとともに、ヘルメット・ライフジャケット・シューズ等の安全用具も必ず着用すること。

(2) 競技中は、救助員を必要箇所に配置する。なお、公式練習においては、セルフレスキューとする。

- (3) ハンドマイク等、電子音による応援は禁止する。
- (4) 天候によりコース、競技日程を変更することがある。
- (5) 競技日程の変更が必要な事案が発生した場合は、臨時の監督会議を招集することがあるので、場内アナウンスを注意しながら聞いておくこと。
- (6) 艇の乗り降りは、乗艇場所・降艇場所で行うこと。
- (7) デモンストレーターは、WWは2名、SLは3名。
- (8) デモンストレーションの時のみ選手・監督は立入禁止区域内へ入る事ができる。
- (9) WWのコース承認会議は、決勝テント付近で行う。

※ 以下、令和5年5月8日付け「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴う本連盟新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの廃止及び今後の基本的な感染対策について」連盟通知から抜粋

- ・ 発熱（37.5 度程度以上を目安）、咳、倦怠感などの有症時は、宿舎等に待機し、大会・諸活動の参加は控えてください。
- ・ 基本的な感染対策「3つの密（密閉・密集・密接）を避ける」、「人と人との距離の確保」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」は引き続き継続してください。
- ・ 会場における感染対策
原則、入場時の検温、健康チェックシートの提出、入口での消毒液設置、アクリル板、ビニールシートなどパーティション（仕切り）の設置については、行いません。ただし、感染拡大防止の観点から政府、自治体等の方針を適宜確認の上、必要に応じて感染拡大防止の対応を行います。
- ・ マスクの着用について
大会の実施に当たっては、マスクの着用を求めません。状況に応じて個人で判断してください。なお、感染拡大防止の観点から、引き続き、移動時など混雑した場所や公共交通機関を利用する場合には不織布マスクの着用を推奨いたします。
- ・ 感染したとき、また、いわゆる濃厚接触者となったときは、競技本部に連絡してください。
- ・ 感染した場合、発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は外出を控えるとともに、その後も10日間を経過するまでは、マスク着用や、ハイリスク者との接触は控えることを推奨します。

(資料 1 - 1)

競技日程

(1) 公式練習等日程

選手受付	9月11日(水)	9:00~15:00		選手・関係者受付
	9月12日(木)	9:00~15:00		
検定点検	9月11日(水)	12:00~14:30		検定所
	9月12日(木)	14:00~16:30		
公式練習	9月11日(水)	ワイルドウォーター 1,500m スプリント練習可	10:00~12:00	
		スラローム	13:00~14:00	
			14:00~15:00	
			15:00~16:00	
	9月12日(木)	スラローム	10:00~11:00	
			11:00~12:00	
			12:00~13:00	
		ワイルドウォーター 1,500m スプリント練習可	14:00~16:00	
監督会議	9月12日(木)	11:00~11:30		川内川湧水町轟の瀬特設 カヌー競技場 式典会場・休憩所(大テント)
開始式	9月13日(金)	9:30~9:50		

※注意事項

- ・ 公式練習は、コース内の混雑を避けるため、都道府県別に時間を分けます。公式練習の割り当てを確認の上、必ず時間を守ってください。
- ・ 選手は公式練習時に配付されたビブを必ず着用してください。
- ・ 公式練習は、各都道府県で安全に配慮し、セルフレスキュー対応をお願いします。
- ・ 公式練習時は、ワイルドウォータースタート地点への計画輸送を行いませんので各都道府県で移動をお願いします。

(資料1-2)

(2) 競技日程

開始時刻	9月13日(金)	開始時刻	9月14日(土)
	【ワイルドウォーター 1,500m】		【スラローム 25ゲート】
9:30	開始式	8:55	フォアラン
10:20	デモンストレーション コース承認監督会議	9:10	決 勝 1回目 女子K-1
11:20	ノンストップトレーニング 女子 K-1	9:50	決 勝 1回目 男子K-1
11:35	ノンストップトレーニング 男子 K-1 ※1分間隔	10:40	決 勝 1回目 女子C-1
13:00	決 勝 女子 K-1	11:02	決 勝 1回目 男子C-1
13:35	決 勝 男子 K-1 ※2分間隔	12:20	決 勝 2回目 女子K-1
14:40	種目別表彰式	13:00	決 勝 2回目 男子K-1
15:40	デモンストレーション スラローム 25ゲート コース承認会議	13:50	決 勝 2回目 女子C-1
		14:12	決 勝 2回目 男子C-1 ※2分間隔
		15:30	種目別表彰式
		16:10	デモンストレーション スラローム 15ゲート コース承認会議
開始時刻	9月15日(日)	開始時刻	9月16日(月)
	【スラローム 15ゲート】		【ワイルドウォーター スプリント】
8:55	フォアラン	9:10	デモンストレーション コース承認監督会議
9:10	決 勝 1回目 女子K-1	10:00	決 勝 1回目 女子 K-1
9:50	決 勝 1回目 男子K-1	10:15	決 勝 1回目 男子 K-1
10:40	決 勝 1回目 女子C-1	11:00	決 勝 2回目 女子 K-1
11:02	決 勝 1回目 男子C-1	11:15	決 勝 2回目 男子 K-1 ※1分間隔
12:20	決 勝 2回目 女子K-1		
13:00	決 勝 2回目 男子K-1	12:15	種目別・個人表彰式
13:50	決 勝 2回目 女子C-1	12:30	終了式
14:12	決 勝 2回目 男子C-1 ※2分間隔		
16:30	種目別・個人表彰式		

(資料1-3) SAGA国スポカヌー (スラローム・ワイルドウォーター) 公式練習 練習時間割当表

9月11日(水)

種目	時間	割 当							
ワイルド ウォーター	10:00 ~ 12:00	組分けは行わない。スプリント及び1,500m練習可とする。							
ス ラ ロ ー ム	13:00 ~ 14:00	女 子				男 子			
		31-3	福馬 つばさ	34-5	岡崎 遥海	31-4	杉村 靖彦	45-4	瀧口 将矢
		33-3	柴田 実千代	36-5	河野 清見	33-4	延江 直基	41-4	内田 優樹
		38-3	都田 輝夏	46-5	神田橋 美貴	37-4	伊藤 大輔	33-6	延江 俊基
		44-3	越智 ますみ	41-5	坂口 洋子	39-4	福島 崇年	37-6	松浦 耕一
		45-3	瀧口 みなみ			40-4	八橋 巧	44-6	小野 隆充
		46-3	樋口 優子			42-4	廣吉 圭登	41-6	佐々木 優
	41-3	矢澤 亜季			44-4	河津 聖駒			
	14:00 ~ 15:00	17-3	佐藤 妃花瑠	18-5	荒城 祐佳	16-4	田川 篤	27-4	岩崎 慎也
		22-3	岩田 祥子	24-5	井口 花恋	17-4	佐藤 颯柊	28-4	松原 啓
		23-3	藤井 南帆	25-5	末永 栞	23-4	森田 涼太	18-6	高木 信寿
		25-3	片岡 尚子			24-4	加藤 哲平	23-6	齋藤 彰太
	15:00 ~ 16:00	28-3	森川 瑞希			25-4	山本 嶺	26-6	田中 慈英
		1-3	栗原 詩	1-5	深田 真衣	1-4	中西 実直	14-4	齋藤 徹平
		3-3	千葉 花音	5-5	佐々木 廉	2-4	矢澤 一輝	15-4	横内 零
		7-3	斎藤 暖夏	11-5	新田 美蒼空	3-4	藤野 浩太	1-6	小田 雅大
		9-3	富沢くるみ			7-4	関根 正人	5-6	佐々木 将汰
		13-3	伊藤 くるみ			12-4	好田 圭作	12-6	中嶋 学人
	14-3	小野澤 嶺			13-4	禰寝 大亮			

9月12日(木)

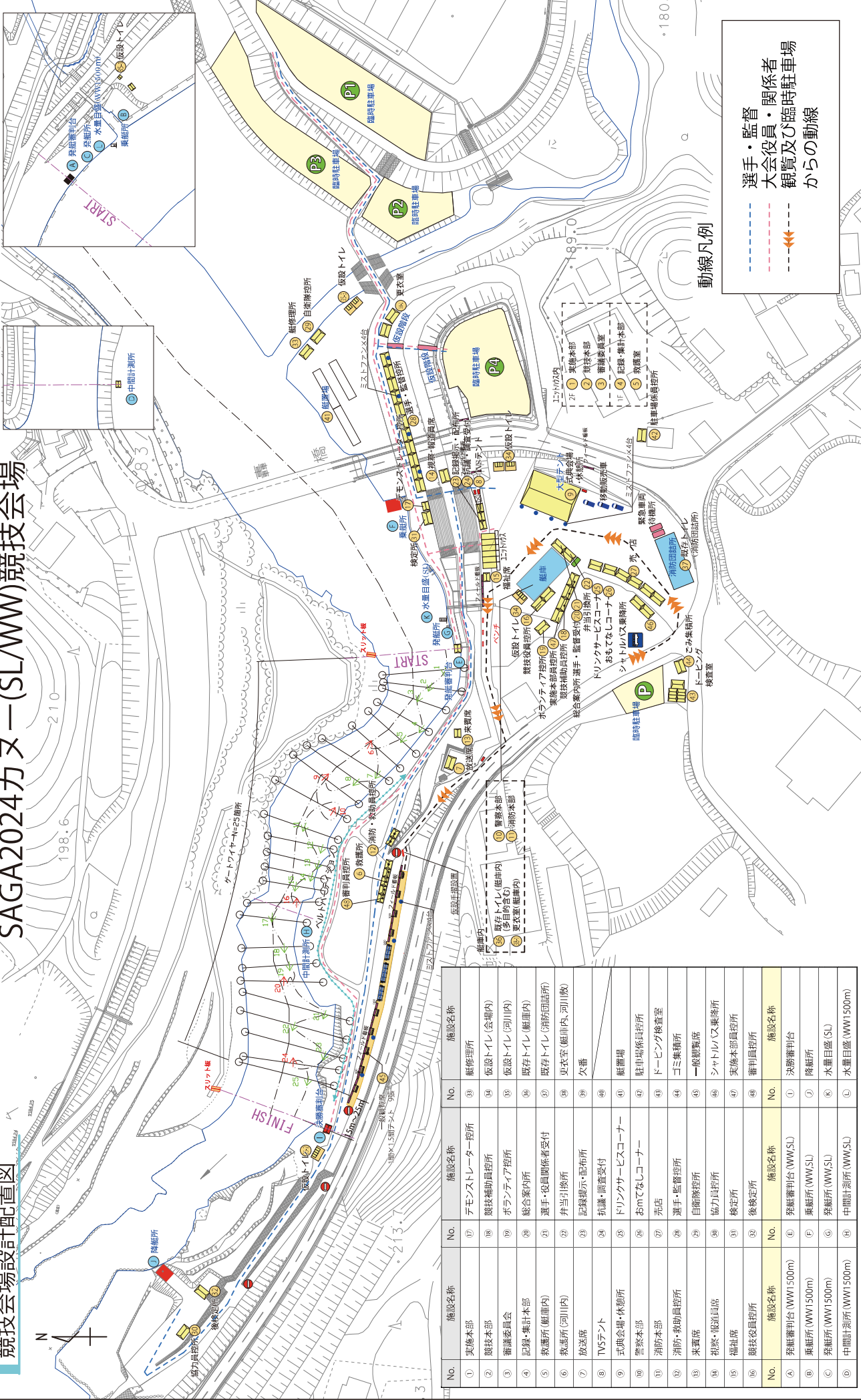
種目	時間	割 当								
ス ラ ロ ー ム	10:00 ~ 11:00	女 子				男 子				
		1-3	栗原 詩	1-5	深田 真衣	1-4	中西 実直	14-4	齋藤 徹平	
		3-3	千葉 花音	5-5	佐々木 廉	2-4	矢澤 一輝	15-4	横内 零	
		7-3	斎藤 暖夏	11-5	新田 美蒼空	3-4	藤野 浩太	1-6	小田 雅大	
		9-3	富沢くるみ			7-4	関根 正人	5-6	佐々木 将汰	
		13-3	伊藤 くるみ			12-4	好田 圭作	12-6	中嶋 学人	
	14-3	小野澤 嶺			13-4	禰寝 大亮				
	11:00 ~ 12:00	31-3	福馬 つばさ	34-5	岡崎 遥海	31-4	杉村 靖彦	45-4	瀧口 将矢	
		33-3	柴田 実千代	36-5	河野 清見	33-4	延江 直基	41-4	内田 優樹	
		38-3	都田 輝夏	46-5	神田橋 美貴	37-4	伊藤 大輔	33-6	延江 俊基	
		44-3	越智 ますみ	41-5	坂口 洋子	39-4	福島 崇年	37-6	松浦 耕一	
		45-3	瀧口 みなみ			40-4	八橋 巧	44-6	小野 隆充	
		46-3	樋口 優子			42-4	廣吉 圭登	41-6	佐々木 優	
		41-3	矢澤 亜季			44-4	河津 聖駒			
	12:00 ~ 13:00	17-3	佐藤 妃花瑠	18-5	荒城 祐佳	16-4	田川 篤	27-4	岩崎 慎也	
		22-3	岩田 祥子	24-5	井口 花恋	17-4	佐藤 颯柊	28-4	松原 啓	
		23-3	藤井 南帆	25-5	末永 栞	23-4	森田 涼太	18-6	高木 信寿	
		25-3	片岡 尚子			24-4	加藤 哲平	23-6	齋藤 彰太	
		28-3	森川 瑞希			25-4	山本 嶺	26-6	田中 慈英	
	ワイルド ウォーター	14:00 ~ 16:00	組分けは行わない。スプリント及び1,500m練習可とする。							

※ 名前の中の数字は、ピブNo. (都道府県番号+種目番号) [種目番号 WWK1:1 WMK1:2 WK1:3 MK1:4 WC1:5 MC1:6]

競技会場設計配置図

SAGA2024カヌー(SL/WW)競技会場

WW1500m中間測定所 WW1500mスタート及び乗艇所



動線凡例

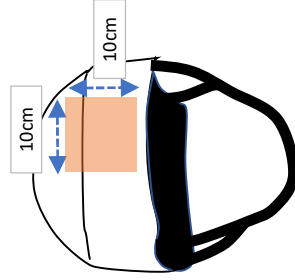
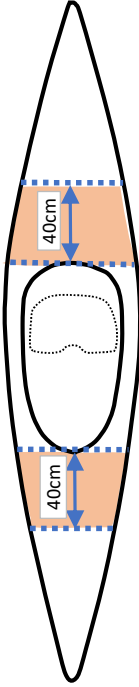
- - - 選手・監督
- - - 大会役員・関係者
- - - 観覧及び臨時駐車場からの動線

No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	実務本部	17	メモスタントレータースタート	33	艇修理所
2	審議委員会	18	競技補助員控所	34	仮設トイレ(会場内)
3	記録・集計本部	19	ボランティア控所	35	仮設トイレ(河川内)
4	記録所(艇内)	20	総合案内所	36	既存トイレ(艇運内)
5	救護所(河川内)	21	選手・役員関係者受付	37	既存トイレ(消防団用)
6	放送席	22	選手引換所	38	更衣室(艇内)
7	TVスタント	23	記録提示・配布所	39	欠番
8	式典会場・休憩所	24	抗議・調査受付	40	艇置場
9	警務本部	25	ドリンクサービスコーナー	41	駐車場係員控所
10	消防本部	26	おむてなしコーナー	42	ドレーピング検査室
11	来賓席	27	売店	43	ゴミ集積所
12	消防・救急員控所	28	選手・監督控所	44	一階観覧席
13	来賓席	29	自衛隊控所	45	シャトルバス乗降所
14	消防本部	30	協力員控所	46	実務本部員控所
15	記録所	31	検定所	47	審判員控所
16	競技役員控所	32	後検定所	48	審判員控所
No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
4	発艦審判台(WW1500m)	6	発艦審判台(WW/SL)	1	決勝審判台
5	乗艇所(WW1500m)	7	乗艇所(WW/SL)	2	降艇所
6	乗艇所(WW1500m)	8	乗艇所(WW/SL)	3	水重目盛(SL)
7	中間計測所(WW1500m)	9	中間計測所(WW/SL)	4	水重目盛(WW1500m)




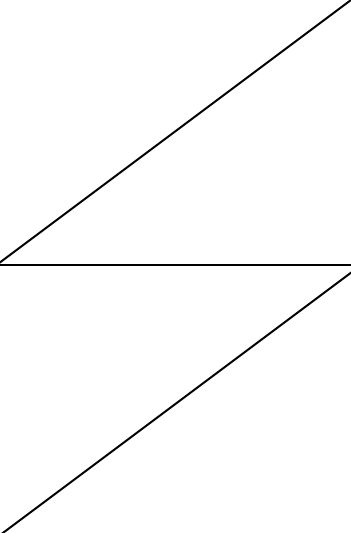
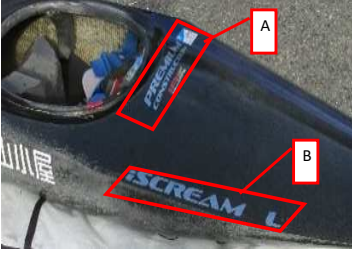







(資料3)

商標に関するルール

スラ・ワイ 競技規則	<p>商標等を確認する装備 艇、パドル、ヘルメット、ライフジャケット、スプレーカバー、ウェアー</p> <p>認められる商標等 ※国体は除く</p> <p>商標、宣伝用の標章または文字 (品位を保つこと)</p>
商標等を表示できない箇所 (連盟、競技主催者の権利部分)	<ul style="list-style-type: none"> ・艇 <ul style="list-style-type: none"> …コーミングの前後40cm以内のデッキ、ボトム ・パドル <ul style="list-style-type: none"> …Kにおいては左側のブレード、Cにおいてはブレードの外側 ・ヘルメット <ul style="list-style-type: none"> …正面10×10cm以内



国体 特別規則	<p>商標等を確認する装備</p> <p>艇、パドル、ヘルメット、ライフジャケット、スプレーカバー、ウェアー</p> <p>認められる商標等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属都道府県の県名・県章・マスコット ・各用具の製造業者の名称・称号・ロゴ・商品名
------------	--

項番	質問	質問	回答	回答
1	どのようなものをマスキングする必要がありますか？		所属都道府県名の表示、製造販売会社の商標以外はすべてマスキングしてください。	
2	艇以外の周辺用具の商標も点検の対象ですか？		商標の点検対象は、艇に限らず、パドル、ヘルメット、ライフジャケット、スプレーカーブも含まれます。ウェア・ライフジャケットに関しては、ヒップで隠れる部分の商標はマスキングする必要はありません。	
3	A、Bのような製造業者のロゴはマスキングする必要がありますか？		製造業者の商標はマスキングする必要はありません。	
4	Cのような製造業者のロゴはマスキングする必要がありますか？		製造業者のロゴであっても「.COM」の部分はマスキングしてください。	
5	Dのような選手が所属する企業のロゴはマスキングする必要がありますか？		製造販売業者以外の企業の商標はその全体をマスキングしてください。	
6	マスキング部分が透けて見えますが問題ありませんか？		透けて見えるのは不可です。重ねてマスキングし、透けて見えないようにしてください。	
7	ロゴがマスキングからはみ出ていますが問題ありませんか？		商標がはみ出ないよう、その全体をマスキングしてください。	

商標に関するルール（抜粋）

カヌースラローム競技規則

第7条 艇・パドル・附属品

2. 商標及び標章（商業宣伝について）

(1) 艇、パドル、ヘルメット、衣服及び付属品等に、商標及び宣伝用の標章または文字を入れることができる。但し、国民体育大会は除く。

(2) 規定

- 艇は、コーミングの前後40cm以内のデッキ、ボトムには入れることができない。C-2においては前漕者のコーミングの前後40cm以内のデッキ、ボトムには入れることができない。

- ヘルメットは正面10×10cm以内には入れることができない。

- パドルは、Kにおいては左側、Cにおいては外側に入れることができない。

(3) (2)の規格の部分については、連盟、競技主催者の権利とする。選手は、連盟、競技主催者が競技会等において付けた、商標及び標章等を故意にはがしたり、手を加えたりしてはならない。

(4) 選手は、各自の用具につけた商標及び標章等に対して、責任を持ち品位を保つものとする。

ワイルドウォーター競技規則

第7条 艇・パドル・附属品

2. 商標及び標章（商業宣伝について）

(1) 艇、パドル、ヘルメット、衣服及び付属品等に、商標及び宣伝用の標章または文字を入れることが **(2)の規定で** できる。但し、国民体育大会は除く。

(2) 規定

- 艇は、コーミングの前後40cm以内のデッキ、ボトムには入れることができない。C-2においては前漕者のコーミングの前後40cm以内のデッキ、ボトムには入れることができない。

- ヘルメットは正面10×10cm以内には入れることができない。

- パドルは、Kにおいては左側、Cにおいては外側に入れることができない。

(3) (2)の規格の部分については、連盟、競技主催者の権利とする。選手は、連盟、競技主催者が競技会等において付けた、商標及び標章等を故意にはがしたり、手を加えたりしてはならない。

(4) 選手は、各自の用具につけた商標及び標章等に対して、責任を持ち品位を保つものとする。

国民体育大会特別規則

第7条 用艇、規格及び配艇

2. 選手が使用する艇、パドルを含む用具／用品等の商標及び標識は、所属都道府県名・県章・マスコット及び製造業者の名称・称号・ロゴ・商品名以外は認めない。

第10条 服装

3. 選手が着用する競技用ユニフォームは、競技・種目・種別の単位で都道府県ごとに統一するものとする。商標及び標識は、所属都道府県名・県章・マスコット及び製造業者の名称・称号・ロゴ・商品名以外は認めない。

用具に関するルール

用具	項目	スラローム			ワイルドウォーター		
		K 1	C 1	C 2	K 1	C 1	C 2
艇	長さ	3.5m以上		4.1m以上	4.5m以下	4.3m以下	5m以下
	巾	0.6m以上		0.75m以上	規定無		
	最低重量	9Kg		15Kg	10Kg	11Kg	17Kg
	両端の半径 (R)	<ul style="list-style-type: none"> ・真上から見て2cm以上  <ul style="list-style-type: none"> ・真横から見て1cm以上  ※ a b間いずれの箇所でも半径1cm以上あること					
突起物 (フィン等)	<ul style="list-style-type: none"> ・船体と一体成型 ・高さ20mm以下 ・幅8mm以上 ・エッジの半径4mm以上  						
エアバック				K 1	C 1	C 2	
	フロント			30L	40L	60L	
	バック			50L	50L	60L	
ハンドル		<ul style="list-style-type: none"> ・艇首と艇尾から各30cm以内 ・親指の付け根まで手の全体が容易に挿入ができること ・ロープは直径6mm以上 			<ul style="list-style-type: none"> ・艇首と艇尾から各30cm以内 ・10cm×10cm×1.5cmのテンプレートが容易に挿入ができること ・ロープは直径6mm以上 		

用具に関するルール

用具	項目	スラローム	ワイルドウォーター
ライフジャケット			
	安全基準	ISO 12402-5 (レベル50)、または同等の要件を満たす国内標準に適合 ※ICFで認められているCSLライフジャケットは下記URLより参照 https://www.canoeicf.com/disciplines/canoe-slalom/equipment	
	浮力	6.12kg以上	
	浮力体	・体の前後に同等に分布	
	厚さ	・20mm以上	
	表面積	・前部と後部 各400cm ² 以上	
	追加浮力体	全浮力体容積の50%以下 スプレーデッキと一体型可	
	ストラップ	・両側にショルダー・ストラップ要 ・左右のサイドまたは股間に ストラップ要	

用具	項目	スラローム	ワイルドウォーター
ヘルメット			
	安全基準	EN 1385、または同等の要件を満たす国内標準に適合 競技者の頭を充分保護でき、丈夫なあご紐が取り付けられていること。 自家製や改造しているものは不可 ※ICFで認められているCSLヘルメットは下記URLより参照 https://www.canoeicf.com/disciplines/canoe-slalom/equipment	

用具	項目	スラローム	ワイルドウォーター
シューズ			
	安全基準		転覆、脱艇した時に脱げないように足にフィットしたものを着用

用具に関するルール（抜粋）

カヌースラローム競技規則

第7条 艇・パドル・附属品

1. 艇の仕様

- (1) 長さ及び幅
全てのタイプのK1：長さ3.50m以上、巾0.60m以上
全てのタイプのC1：長さ3.50m以上、巾0.60m以上
全てのタイプのC2：長さ4.10m以上、巾0.75m以上
- (2) 最低重量（計量時は水を完全に取除いておく事。）
全てのタイプのK1、C1：9 kg
全てのタイプのC2：15 kg
- (3) 全ての艇は両端の最小半径が真上から見て2cm、真横から見て1cmであること。
- (4) 全ての艇において舵（ラダー）は禁止される。船体からの突起物はすべて船体と一体成型されていなければならない。20mm以下の高さで、幅は8mm以上、外縁部のエッジの半径は4mm以上の事。
- (5) 艇は要求された大きさに合わせて、その範囲内でデザインされていなくてはならない。
- (6) カヤックはデッキのある艇で、ダブルブレードのパドルで推進するものを言い、選手はその内側に座るものとする。カナヌはデッキのある艇で、シングルブレードのパドルで推進するものを言い選手はその内側で膝をつくものとする。

第19条 安全装備

1. 全ての艇は、不沈性で艇首と艇尾からそれぞれ30cm以内にハンドル（手でつかめるもの）を取りつければならない。
 - (1) 次のものがハンドルと考えられる：ロープの輪、ハンドルをつけたロープ、あるいは船首から船尾まで渡したロープ、あるいは造船上一体化されたハンドルである。
 - (2) ハンドルはいかなる時にも、艇を握むため親指の付け根までの手の全体が容易に挿入ができればならない。
 - (3) 使用されるロープは（円いときは）少なくとも6mm以上の直径がなくてはならない、あるいは横断面が（四角いときは）2×10mm以上なくてはならない。
 - (4) ハンドルをテープで巻いてはならない。
2. 各選手はしっかりと固定した安全なヘルメットとライフジャケットを着用しなければならない。材料の品質が保証された工場からのブランド製品のみが採用される。いずれも良い状態でなければならない。自家製のヘルメットとライフジャケットは許可されない。
 - (1) ライフジャケットは、現在の業界標準であるISO 12402-5（レベル50）、または同等の要件を満たす国内標準に適合していなければならない。
 - (2) ライフジャケットは水を吸収しない浮力体を用いて作られ、上半身に着るもので、浮力体は体の前と後に同等に分布されていなければならない。それはすべてのサイズにおいて、厚さ20mm以上、表面積が前部と後部でそれぞれ400cm²以上なければならない。また、6.12kgの計測された鉛あるいはそれと同等の材料でできたものを浮かべるのに十分な浮力を持たなければならない。それは水中で意識のある人間の顔を上にした位置で浮かべることができるようにデザインされていなければならない。
 - (3) ライフジャケットには、腰より下の前面に取り外すことのできない浮力体を追加することができる。この追加浮力体は、全浮力体容積の50%以下とし、スプレーデッキと一体型とするこもできる。
 - (4) ライフジャケットは、救助活動中の吊り上げ荷重に耐えられるよう、両側にショルダー・ストラップを備えていなければならない。また、救助活動中に選手が滑り落ちないように、ライフジャケットは左右のサイドストラップまたは股間のストラップを備えていなければならない。
 - (5) 安全なヘルメットはたとえば競技者が岩に当たった場合でも競技者の頭を充分保護しなければならない（頭とヘルメット殻の間のショックを吸収するためのスペース）。また丈夫なあご紐が取り付けられていなければならない。

ワイルドウォーター競技規則

第7条 艇・パドル・附属品

1. 艇の仕様

- (1) 寸法
全K-1艇：最大艇長4.5m、最小艇巾制限なし
全C-1艇：最大艇長4.3m、最小艇巾制限なし
全C-2艇：最大艇長5m、最小艇巾制限なし
寸法を増す為にいかなる余分な物も艇に付けてはならない。
- (2) 重量（乾燥状態で計測）
全K-1艇：最小10kg
全C-1艇：最小11kg
全C-2艇：最小17kg
※ エアバッグは艇の一部である。スプレーデッキ（カバー）はアクセサリで、艇の一部とは考えない。
- (3) 全ての艇において舵（ラダー）は禁止される。
- (4) 艇は要求された大きさに合わせて、その範囲内でデザインされていなくてはならない。
- (5) カヤックはデッキのある艇で、ダブルブレードのパドルで推進するものを言い、選手はその内側に座るものとする。カナディアンカナヌはデッキのある艇で、シングルブレードのパドルで推進するものを言い、選手はその内側で膝をつくものとする。
- (6) 艇は単一のパウとスターン及びキールラインからなる。

第18条 安全装備

1. 全ての艇は、不沈性（浮力材を固定する為に安定壁を加えることができる）で艇首と艇尾からそれぞれ30cm以内にハンドル（手でつかめるもの）を取りつければならない。
 - (1) 次のものがハンドルと考えられる：ロープの輪、ハンドルをつけたロープ、あるいは船首から船尾まで渡したロープ、あるいは造船上一体化されたハンドルである。
 - (2) ハンドルはいかなる時にも、10cm×10cm×1.5cmのテンプレートが容易に挿入ができればならない。
 - (3) 使用されるロープは（円いときは）少なくとも6mm以上の直径がなくてはならない、あるいは横断面が（四角いときは）2×10mm以上なくてはならない。
 - (4) ハンドルをテープで巻いてはならない。
 - (5) 全ての艇は安全確保のため艇の前後（前部はストレッチャーの前、後部はシートの後方）に以下に定められた容量のエアバッグを装備していなければならない。
 - 全K-1：フロント30リットル、バック50リットル
 - 全C-1：フロント40リットル、バック50リットル
 - 全C-2：フロント60リットル、バック60リットル容量はエアバッグの製造スタンプにより確認される。問題がある場合は先ず検艇員が判断し、若し更に提訴があった場合は競技委員会が判断する。
2. 各選手は以下の条項に規定された、きっちりとした安全ヘルメットとライフジャケットを着用し、シューズを履かなければならない。
 - (1) ライフジャケットは、現在の業界標準であるISO 12402-5（レベル50）、または同等の要件を満たす国内標準に適合していなければならない。
 - (2) ライフジャケットは水を吸収しない浮力体を用いて作られ、上半身に着るもので、浮力体は体の前と後に同等に分布されていなければならない。それは6.12kgの計測された鉛あるいはそれと同等の材料でできたものを浮かべるのに十分な浮力を持たなければならない。それは水中で意識のある人間の顔を上にした位置で浮かべることができるようにデザインされていなければならない。
 - (3) ヘルメットは、EN 1385、または同等の要件を満たす国内標準に適合していなければならない。
 - (4) 競技者は顔、こめかみ、耳を守るよう設計された、常に締め付けられるあご紐を持つ安全なヘルメット（頭とヘルメット殻の間のショックを吸収するためのスペースを持つ）を着用しなければならない。そのヘルメットは標準規格に合致した物が望ましい。
 - (5) すべての選手はシューズを履き、靴底は足を保護するに十分な厚さを持つものでなければならない。シューズは選手が転覆、脱艇した時でも脱けないよう足にフィットしたものであること。
3. 主催者は上記安全基準が守られているかどうかスタートとゴールの両方で抜き打ち検査できる。
 - (1) 疑わしい場合には、艇の浮力が検査される。艇は其中の水で満たしたとき、水面に浮かんでいなければならない。
4. 選手はいかなる時においても、即座に艇から自由に離れることが出来なければならない。
5. 安全規則の遵守が行われていない場合、発艇員、発艇検艇員、検艇員および審判部長はおのおの、彼らが任命されている職務に基づいて、選手の発艇を禁止させる責任がある。
6. いかなる場合においても、選手は自己の責任において発艇するものとする。主催者は、競技コースにおいて（競技中）生じた装備の損傷あるいは事故の責任を一切負わない。

実行委員会からの連絡事項

1. 式典について ※すべてプログラムのとおり

(1) 開始式

日 時：令和6年9月13日（金） 9：30～

場 所：湧水町轟の瀬特設カヌー競技場 式典会場（大テント）

備 考：入場行進は行いません。

選手・監督の皆様は、ユニフォームを着用のうえ、開始10分前までに式典会場内に集合し、係員の指示によりブロックごとにプラカードを置いてありますので、その後ろに整列してください。

(2) 終了式

日 時：令和6年9月16日（月）12：30～（種目別表彰式後に引き続き実施）

場 所：湧水町轟の瀬特設カヌー競技場 式典会場（大型テント）

(3) 種目別表彰式

種 目	期 日	開始時間
カヌーワイルドウォーター 1,500m	9月13日(金)	14：40
カヌースラローム 25ゲート	9月14日(土)	15：30
カヌースラローム 15ゲート	9月15日(日)	16：30※
カヌーワイルドウォーター スプリント	9月16日(月)	12：15※

入賞者は時間に余裕をもって、式典会場内に集合してください。

今回は、入賞者の都道府県旗持ちは行いません。

※SAGA2024競技会において、選手の活躍にスポットを当て、選手個人を称えることを目的とした表彰「The Good Player of SAGA2024」を実施します。

〔表彰基準〕

スラローム……25ゲート、15ゲートの2種目でどちらも1位の選手（15日種目別表彰後）

ワイルドウォーター……1,500m、スプリントの2種目でどちらも1位の選手（16日 〃 ）

〔贈 呈〕 副賞（佐賀県特産品の和牛）

2. カヌーワイルドウォーター1,500mの計画輸送及びドローン撮影について（資料4～5）

3. 川内川湧水町轟の瀬特設カヌー競技場駐車場の注意事項について（資料6）

4. 観戦エリア、各ゾーニングについて

競技本部及び立入禁止区域の中には、立ち入らないでください。

選手監督・大会関係者と一般観覧者でエリアを分けております。選手監督・大会関係者エリアには、ADカードがないとは入れませんので、常時（選手は競技中以外）ADカードを首からかけてください。選手監督・大会関係者エリア内でADカードが確認できない場合は、係員から声掛けがありますので指示に従ってください。（資料7）

5. 弁当について

斡旋弁当を注文された方は、受付で配布された引換券を弁当引換所に持参し、受け取ってください。（弁当配布時間は11：00～13：30、弁当ガラの返却は14：30までに弁当引換所へ返却ください。）

※ごみ箱に弁当ガラを捨てないようにお願いします。

6. 医療救護について

(1) 傷病者が発生したとき

① 競技会場内でケガ・発病したとき

(ア) 競技会場に救護所を設置し、医師、看護師が待機します。

(9月13日(金)～16日(月))

(イ) 救護所では応急処置を行い、重病者については医療機関に搬送します。

なお、監督等の関係者の付き添いをお願いします。

(ウ) 競技会場において緊急車両が必要な場合は、実施本部へご連絡ください。

(エ) 救急車以外で搬送する場合、タクシーを利用される際の料金は自己負担となります。

(オ) 救護所内にAEDを設置しています。

② 宿舎においてケガ・発病したとき

各都道府県監督の判断で、医療機関において治療を受けてください。その際、「保険証」を医療機関に必ず持参してください。

(2) 医療費の支払いについて

① 救護所での応急処置及び緊急車両の搬送は無料です。

② 救護所での応急処置を除き、医療費は全て受診者(患者)負担となりますので、「保険証」を必ず持参してください。保険証を持参しないで受信した場合、医療費全額が受診者負担となります。

7. おもてなしコーナー、ドリンクサービスコーナーについて

9月13日(金)～16日(月)において、おもてなしコーナーで、佐賀県や湧水町のお菓子、ドリンクサービスコーナーで、ポカリスエット・水・お茶を無料配布いたしますので、御賞味ください

8. その他

- (1) 緊急事態発生等により、競技時間帯以外に監督会議を召集する場合があります。その際は、場内放送で御案内します。
- (2) 会場敷地内での事故や盗難等については、自己責任とします。
- (3) 会場敷地内は禁煙です。
- (4) SAGA2024実行委員会では写真を撮影し、ホームページや大会記録等に掲載する場合がありますので御理解をお願いします。
- (5) 競技中のフラッシュ撮影は、計測に影響を与えるため使用しないでください。
- (6) 会場内の火気の使用及び危険物の持ち込みは禁止です。
- (7) 会場内でのドローン等の使用は禁止です。(許可を受けた者は除きます。)
- (8) 会場内での自転車の利用は禁止します。(大会運営用の許可車輛を除く)
- (9) 記事(写真を含む。)、SNS、映像等への使用について個人が特定できるような場合は、個人情報保護の観点から、本人に許可を得るなどの対応をお願いします。(意図せず後方等に入りこんでいる場合も含みます。)
- (10) 大きな音が出る機器を使用した応援は禁止です。
- (11) ごみは所定の場所に捨ててください(缶・ビン・プラスチック類はお持ち帰りください)。

9. 緊急連絡先一覧

名 称	電 話 番 号	住 所
SAGA2024実行委員会事務局	0995-74-1520 070-4477-5180 (猪ノ口) 080-2074-6873 (荒牧)	鹿児島県始良郡湧水町木場 276-1 SAGA2024 カヌー競技会オフィス
伊佐湧水警察署	0995-22-0110	鹿児島県伊佐市大口里 2786-1
伊佐湧水消防組合南消防署	0995-74-3021	鹿児島県始良郡湧水町米永 474

(資料4)

カヌーワイルドウォーター1,500mの計画輸送について

自衛隊トラック1台につき5～6艇と、選手をワゴン車で輸送する(13日のみ)。

艇積込担当者(佐賀県) 自衛隊

艇積み下ろし(佐賀県) 自衛隊

選手輸送担当(佐賀県) 自衛隊

1 公式練習

(1) 9月11日(水) 10:00～12:00 各自移動

(2) 9月12日(木) 14:00～16:00 各自移動

2 ノンストップトレーニング・決勝

(1) ノンストップトレーニング計画輸送

女子 10:35集合

男子 10:50集合

10:40発 (競技スタート11:20～)

10:55発 (競技スタート11:35～)

【女子】				【男子】			
	発艇順	都道府県	氏名		発艇順	都道府県	氏名
第1便 10:40発	1	滋賀	池田 百伽	第2便 10:55発	1	愛媛	杉井 太一
	2	愛媛	角藤 友		2	長崎	寺島 峻一郎
	3	北海道	越智 みのり		3	北海道	山岡 洋貴
	4	岩手	永井 茉未		4	佐賀	大岩 歩夢
	5	岐阜	井戸 奈津美		5	石川	久司 満
	6	鹿児島	田中 香奈		6	滋賀	奥田 翔悟
	7	佐賀	西久保 直心		7	岐阜	鈴木 侑也
	8	東京	濱名 としえ		8	岩手	齋藤 晶文
	9	石川	笹生 裕子		9	神奈川	平岩 達樹
	10	鳥取	福本 かな子		10	岡山	山根 美千義

(2) 決勝

女子 12:05集合

男子 12:40集合

12:15発 (競技スタート13:00～)

12:50発 (競技スタート13:35～)

【女子】				【男子】			
	発艇順	都道府県	氏名		発艇順	都道府県	氏名
第1便 12:15発	1	滋賀	池田 百伽	第2便 12:50発	1	愛媛	杉井 太一
	2	愛媛	角藤 友		2	長崎	寺島 峻一郎
	3	北海道	越智 みのり		3	北海道	山岡 洋貴
	4	岩手	永井 茉未		4	佐賀	大岩 歩夢
	5	岐阜	井戸 奈津美		5	石川	久司 満
	6	鹿児島	田中 香奈		6	滋賀	奥田 翔悟
	7	佐賀	西久保 直心		7	岐阜	鈴木 侑也
	8	東京	濱名 としえ		8	岩手	齋藤 晶文
	9	石川	笹生 裕子		9	神奈川	平岩 達樹
	10	鳥取	福本 かな子		10	岡山	山根 美千義

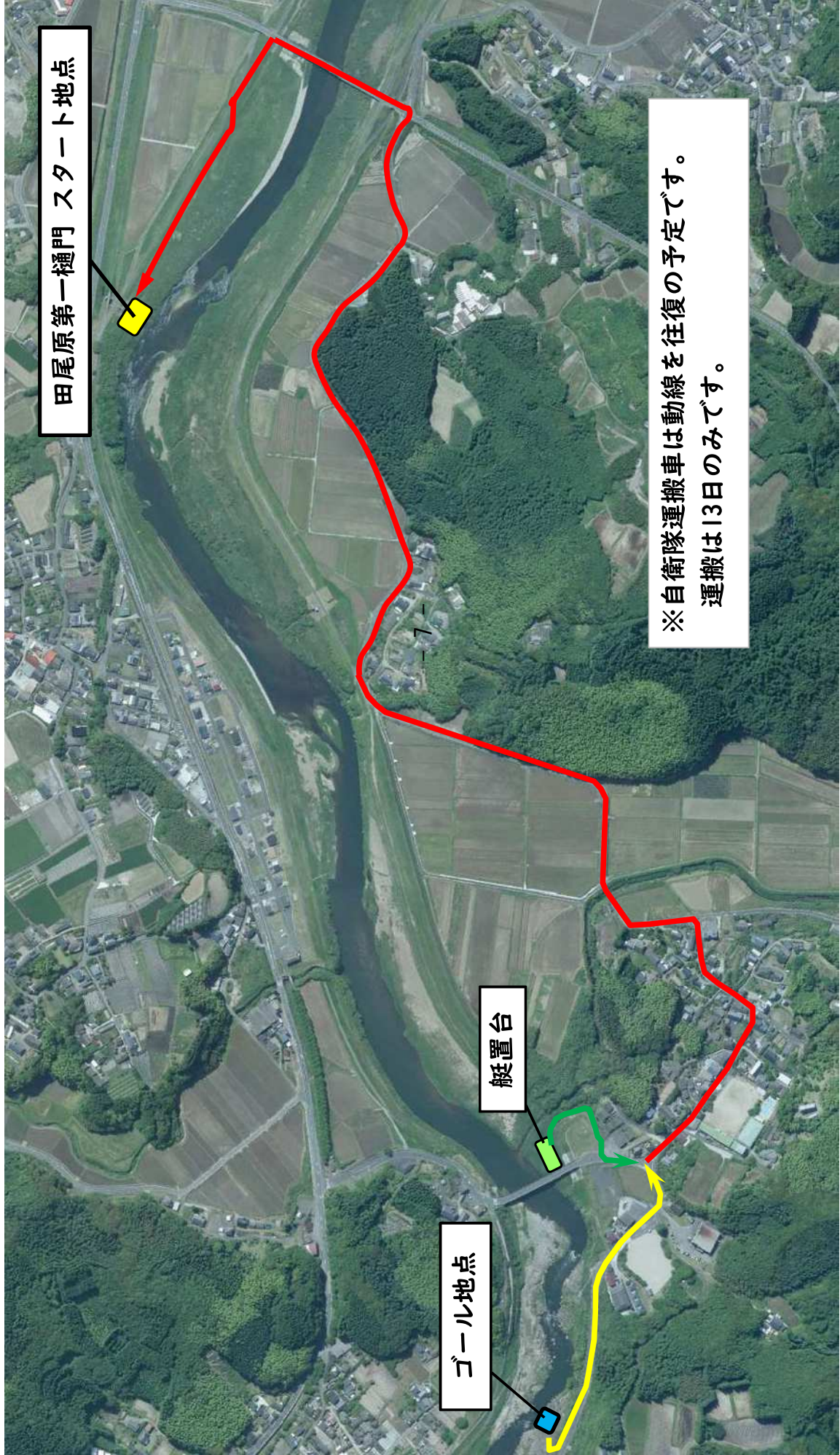
(3) 計画輸送要領

○輸送区間 競技場の艇置場 → 田尾原第一樋門(WW1,500mスタート地点)

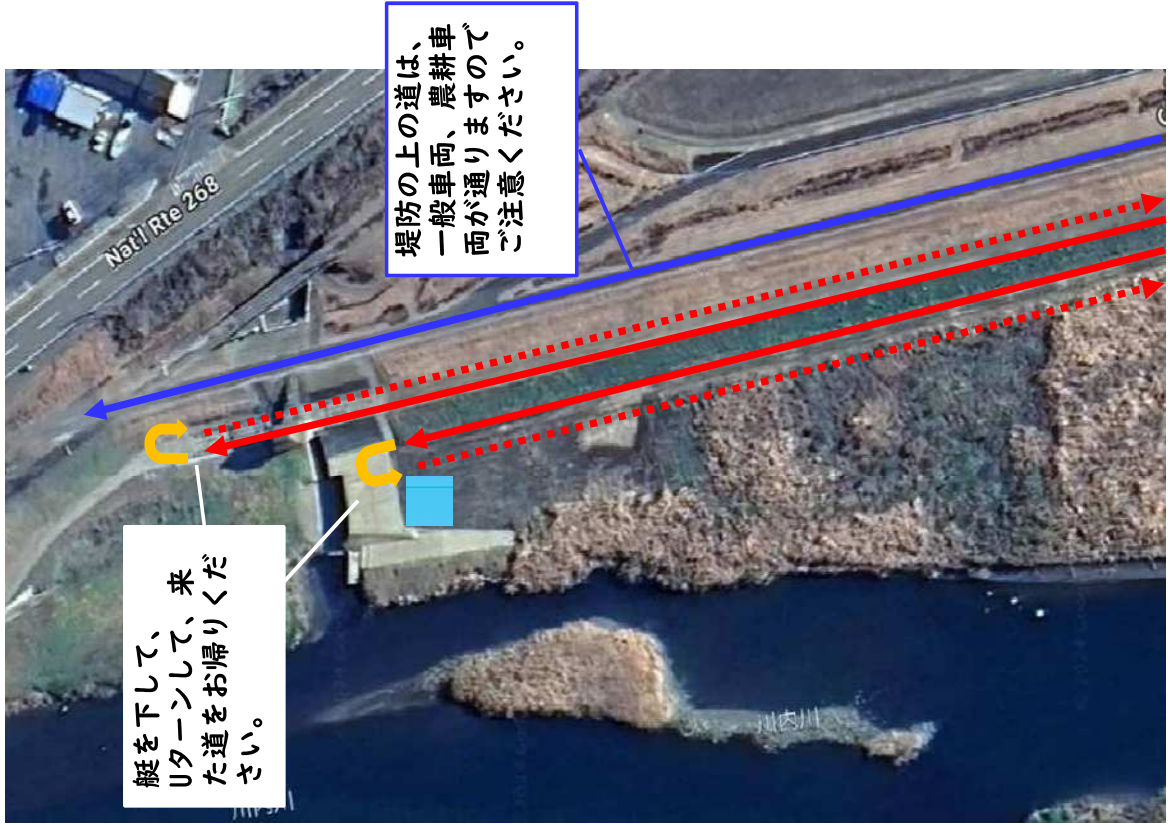
- ・艇の輸送は、選手が艇置場で係員に艇を預け、スタート地点まで自衛隊運搬車で輸送。
- ・輸送した艇は、田尾原第一樋門に準備したブルーシート上に置き、選手が到着後各自の艇を引き取る。
- ・選手は、艇置場に集合し、輸送車両でスタート地点まで輸送。
- ・選手は、田尾原第一樋門の平場で降車させる。

※選手は艇持参の上、集合してください。(対象者が定員になり次第出発します。)

ワイルドウォーター（1,500m）競技 カヌー艇運搬計画



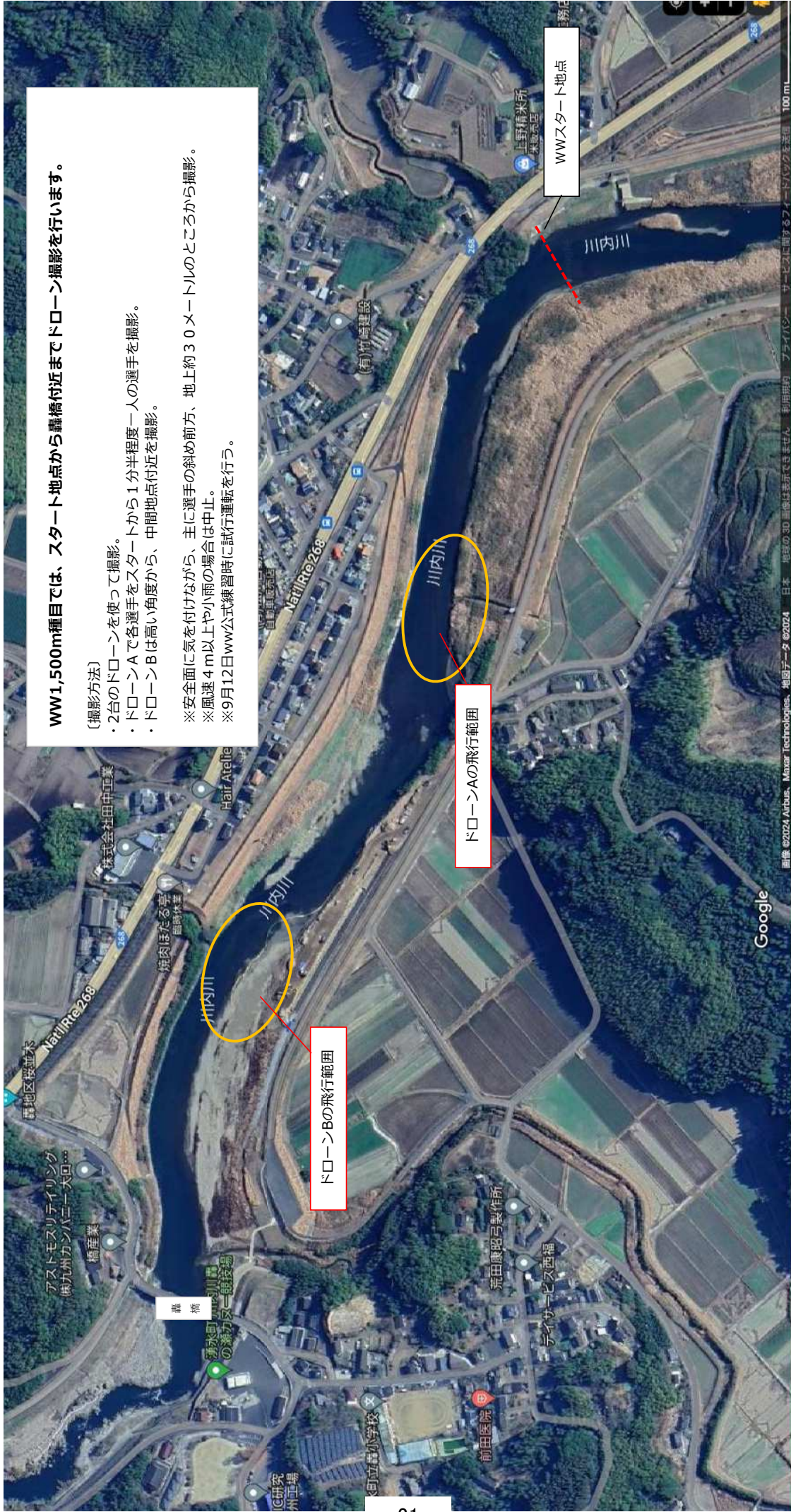
ワールドウォーター（1,500m）競技 カヌー艇運搬 通行方法



SAGA 2024 カヌー競技 (スラローム・ワイルドウォーター) 降艇場図



ドローン飛行範囲



WW1,500m種目では、スタート地点から轟橋付近までドローン撮影を行います。

〔撮影方法〕

- ・2台のドローンを使って撮影。
- ・ドローンAで各選手をスタートから1分半程度一人の選手を撮影。
- ・ドローンBは高い角度から、中間地点付近を撮影。

※安全面に気を付けながら、主に選手の斜め前方、地上約30メートルのところから撮影。
※風速4m以上や小雨の場合は中止。
※9月12日ww公式練習時に試行運転を行う。

(資料6)

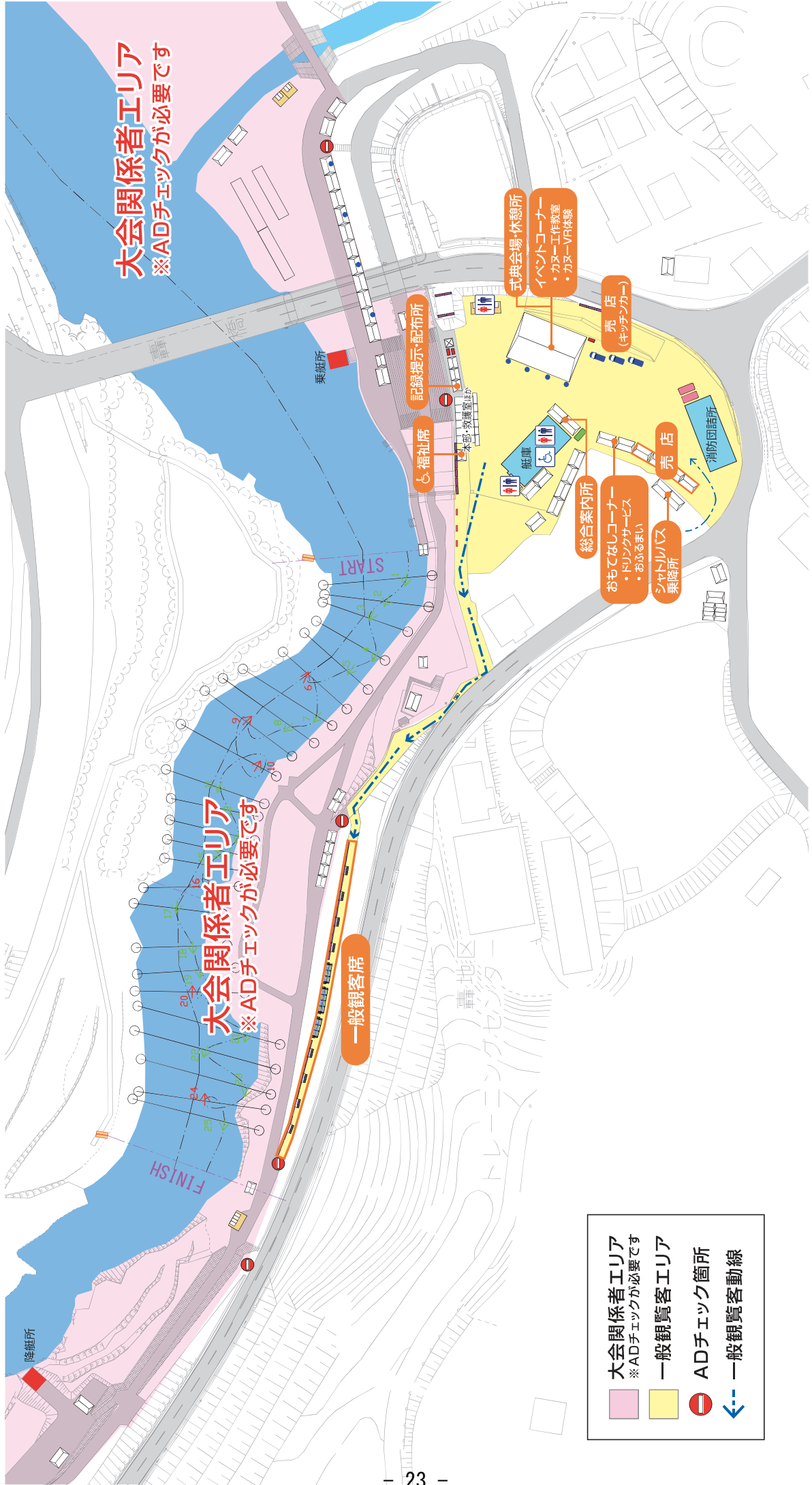
川内川湧水町轟の瀬特設カヌー競技場駐車場の注意事項

[駐車場位置]



- ・ 会場内駐車場の選手監督の駐車場は、原則1台です。会場までは乗り合わせに御協力ください。また、2台目以降は栗野防災センターを御利用ください(シャトルバス運行)。なお、選手監督が4人以上の都道府県は、駐車場2台としております。
- ・ 駐車時は配布した駐車証をダッシュボード上に掲示ください。
- ・ 駐車場で艇、イス、テーブル等を置き、通路や他の方のスペースに影響がないようにしてください。





大会関係者エリア
 ※ADチエックが必要です

大会関係者エリア
 ※ADチエックが必要です

一般観覧客席

- 大会関係者エリア
 ※ADチエックが必要です
- 一般観覧客エリア
- ADチエック筒所
- 一般観覧客動線

SEIKO

SPORTS LINK



スマホから
競技結果がすぐわかる!

リザルト
速報

配信中!

SAGA2024 第78回国民スポーツ大会 カヌー競技



《《 QRコードから簡単アクセス!

- QRコードを読み取るには専用のアプリをダウンロード下さい。
- QRコードが利用できない場合はアドレスを直接入力してください。

<https://seikosportslink.com/pdf/002/index.html?i=20008959>

セイコースポーツリンク

検索